

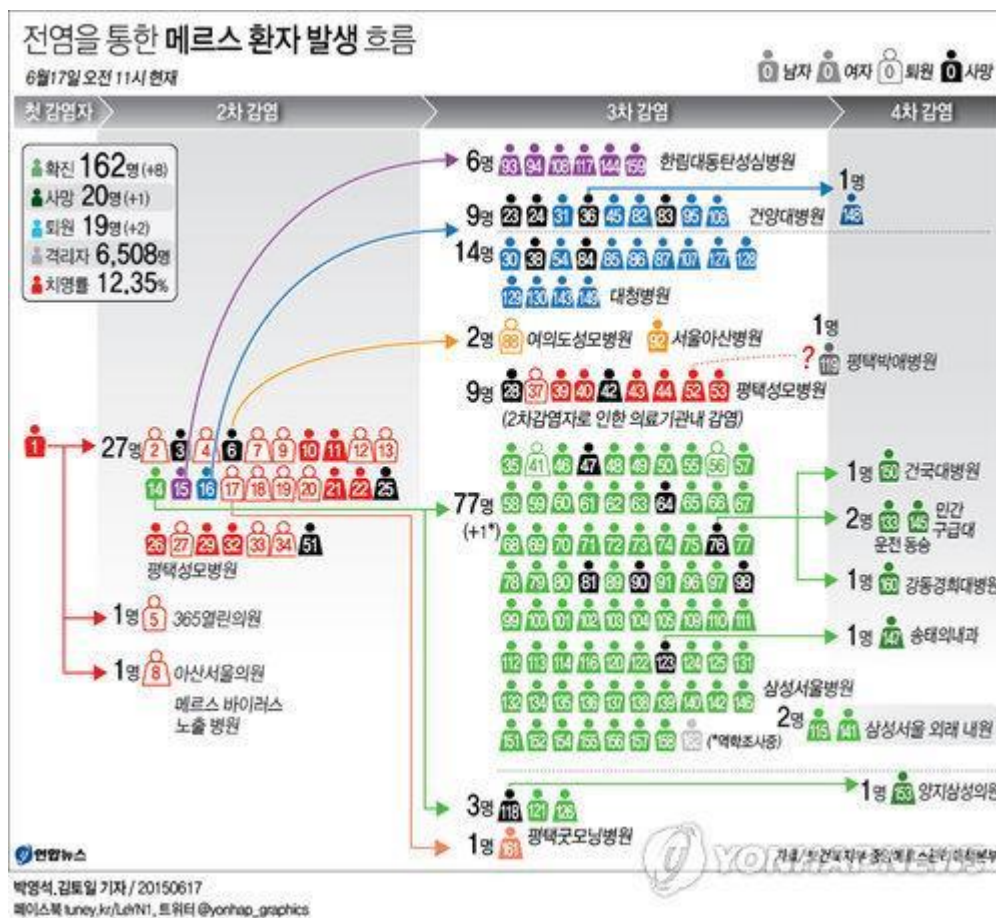
## 新型コロナウイルスについて

中国の武漢で発生している「新型コロナウイルス」感染症について、不安に思っている方が少なくないようです。以下のサイトに最新情報がまとめられていますので、ぜひ参照してください。国立国際医療センター国際感染症センター勤務の忽那賢志医師の執筆で、大変わかりやすく書かれています。

参照：「中国・武漢の新型コロナウイルス感染症について現時点でわかっていること（2020年1月19日現在）」（ヤフー・ニュース）

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20200116-00159079/>

コロナウイルスというと、つい「SARS」「MERS」を連想します。「SARS」は2002年に中国で発生し、2002-2003年シーズンに全世界中に感染が拡大、8096人が感染し774人が死亡（致死率9.6%）しました。一方「MERS」は2012年にサウジアラビアで発生し、2494人が感染し858人が死亡（致死率34.4%）しました。特に2015年、韓国において医療機関における初期対応の失敗から院内感染が爆発的に拡大し、全世界的に大きな問題となりました。



出典：

<https://pbs.twimg.com/media/CHrsJafUEAABaIF.jpg>

今のところ今回の「新型コロナウイルス感染症」は、把握されている全患者数が65名（うち日本1名、タイ2名）、うち死亡者は2名（致死率3.1%）ですが、いずれも高齢者（61歳と69歳、いずれも男性）です。

なお日本の患者は、神奈川県在住の30代中国籍男性。1月3日から発熱があり、6日に武漢市から帰国。同日、医療機関を受診。10日から入院したが、15日には軽快し、退院した、とのこと。

参照：「新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生について」（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08906.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08906.html)

また気がかりな「ヒト-ヒト間感染」については、夫婦で感染した事例が報告されていますが、今のところMERSでみられたような病院内での爆発的な感染はないようです。ただし今後、ウイルスが突然変異して、急に強い感染力を得る危険性もありますし、「スーパー・スプレッダー（super spreader）」の出現もありえます。

スーパー・スプレッダーについて補足説明します。上に挙げた韓国の病院におけるMERS感染の広がりをご覧ください。最初の患者（1番）が合計29名に感染（2次感染）させました。2次感染患者の多くは、他には感染させなかったのに、14番の患者（緑）は80名に、また16番の患者（青）は23名、と非常に多くの人に感染（3次感染）させています。これは感染症領域では「キーワード」ですから、覚えておいてください。

参照：「スーパー・スプレッダー」（ウィキペディア）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/スーパー・スプレッダー>

1月24日からは「春節」（中国旧正月）を迎えます。中国では7連休になり、全世界的に人の行き来が盛んになります。必要以上に恐れる必要はありませんが、外出時の使い捨てマスク着用、咳エチケットを守る、食事前や帰宅後の石鹸を用いた流水での手洗い、手指アルコール消毒、うがいなど、一般的な感染予防を励行しましょう。

埼玉県立大学保健センター